

(様式第2号)

事業所名 グループホーム たんぽぽ

目標達成計画票(事業所記入)

作成日: 平成 28 年 4 月 24 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間	
1	35	緊急時における避難誘導の手順や方法が周知徹底できていない。また、事業所のみでは対応できないため地域との相互支援のしくみがほしい。	非常時において地域住民等との連携を図るしくみができる。	①運営推進会議などで、運営推進委員へ避難訓練協力依頼を行う。 ②当該事業所所在地域の消防団の方に事業所の現状を確認してもらい、「消防団の目」での避難経路の助言をもらう。 ③夜間想定での避難訓練を開催する。	10 ヶ月
2	18	入居者の皆様を要介護者として捉え、過度なサービス提供をしたり、危ないからとの理由で本人のできる能力を奪ってしまう職員が数名いる。	一つの生活共同体の中で個別的な自立支援を行うことができる。	①既存のアセスメントシートのみではなく、生活史に特化したアセスメントを行い、本人の得意なことや興味・関心のあることを引き出し残存機能の維持に努める。 ②転倒転落チェックを行い、一人ひとりの下肢筋力を職員全員が把握する。 ③各項目に関するケアマニュアル(手順書)を作成し、勉強会を通じて周知徹底を図る。	3 ヶ月
3	20	館外行事の企画書の参加予定者が自立に近い方のみになっている。平等性をもって全入居者が参加できるようにしたい。	同地区・同年代の仲間やご家族の協力を得て、佐賀ぶらり旅を実施する。	①職員へ勉強会(介護技術)を行う。 ②グループホームについての勉強会を開催する。 ③行事開催予定日をご家族へ伝え、一緒に参加してもらうよう促しを行う。	6 ヶ月